

さんぽみち



理念

心のやすらぎを求めて

基本方針

1. 良質の医療サービスを提供します。
人材育成に努め、安全や、人権に配慮した良質な医療を提供します。
2. 精神障害者の社会復帰を促進します。
地域の諸機関、施設等との連携に努め、復職支援等々の患者様の事情や、要望にあった社会復帰を促進します。
3. 地域の精神医療に貢献します。
精神科医療の地域への広報、啓発を進めるとともに、日常診療や救急診療に幅広く対応し、地域の精神科基幹病院として地域の精神科医療に貢献します。

さんぽみち春号によせて

この四月より、有馬病院で勤務することとなりました。

この原稿を書く三月のうちに、この病院にも通い慣れておこうと思い、何度か有馬を訪れました。車の外に出ると未だ肌寒さはあるものの、刺すような冬の冷気はやわらぎ、ウグイスが鳴いていてどこか陽気も感じられました。春の到来です。

この季節は、進学や就職など新しい物事が始まる時期です。ですが、毎日の暮らしが大きく変わるわけではありません。朝に起きて顔を洗い、外で一日を過ごし、夕日が差した家路を帰る。そんな何でもないような一日一日の積み重ねの中で、ふと季節の流れや自身の変化に気づくものです。

私自身、新しい場所で働くことに、まだ少しの緊張もあります。しかし、仕事一つひとつを大切に、焦らず日々を重ねていけたらと思っています。

この有馬病院で出会う皆さまとともに、同じ季節を過ごしていけることを楽しみにしております。どうぞこれからよろしくお願いいたします。

医師 内海 弘一郎

院内売店「ココマル」のご案内

当社は、昨年4月より院内売店「ココマル」の運営を開始し早いもので1年になろうとしております。こうして売店を運営出来ているのも、病院関係者はじめ、日頃よりご利用くださる患者さまのおかげであると心より感謝申し上げます。

入院や通院の付き添い、ご家族のお見舞いは、精神的にも体力的にも大きなご負担が伴うことと思っております。慣れない環境の中で過ごす時間は、時に不安や緊張も生まれます。私たち「ココマル」は、そのようなひとときの中で、少しでもほっとできる存在でありたいと願いながら日々営業しております。

売店では、お菓子やパン、お弁当、飲料をはじめ、日用品雑貨などを取り揃えております。軽食やお飲み物でひと息ついていただく時間、急に必要になった生活用品をすぐにご用意できる安心感、その一つひとつが皆さまのお役に立てれば幸いです。

また、患者さまだけでなく、日々患者さまを支えておられるご家族の皆さまにもご利用頂きたいと思っております。皆さまの大切な時間を少しでも支えることができるよう、商品選びや売場づくりにも心を配っております。

院内という大切な場所で営業させていただいていることを常に意識し、清潔で安心してご利用いただける環境づくりと、温かみのある接客を大切にしております。お買い物の短い時間が、ほんの少しでも心ならずも時間となるよう、スタッフ一同努めてまいります。

当売店ではヤマザキ製品の限定商品の予約販売を毎月行っており、通常店頭では陳列されない商品となりますのでご訪問された際にご予約して頂けることをぜひお待ちしております。

また、今年より売店内に『ご要望箱』を設置しており売店をご利用される患者様、ご家族様等からのご要望をお待ちしております。

『CoCoMaru ココマル』の名前の由来・・・

ココ（売店）に来られた方が、円を描くように丸く向き合って頂ける場所になって欲しい！という意味で『ココマル』という店名になりました。

ココマルの Maru の上にある3つの点は「人との繋がり」を意味しております。お客様がお客様を連れて一緒に来店してくれるアットホームなお店作りを目指しております。

営業時間

平日 9時～16時
土曜日 9時～13時

これからも、病院をご利用される皆さま、支えておられるご家族の皆さまに寄り添いながら、「ここにあってよかった」と思ってもらえる売店を目指してまいります。

今後とも院内売店「ココマル」をどうぞよろしくお願い申し上げます。



ココマル
CoCoMaru
Store in Hospital
売店

平日	9:00 ~ 16:00
土	9:00 ~ 13:00
日・祝	定休日

※売店看板

看護部だより

病棟紹介



6病棟は女性の方が入院生活を送る療養病棟です。

病棟では受け持ちスタッフが個人の個性に合わせた取り組みを行い、周囲との偏りが出ないように統一した関わりに注意しながら日々療養生活を安心して送れるように取り組んでいます。また病棟内で働くスタッフには外国人就労支援にてネパールの方とも一緒に働いています。難しい日本語にも関わりを通して学び、患者さまへの対応も丁寧で素敵な笑顔で親しみを持って接してくれています。

病棟内での作業療法ではちぎり絵や折り紙で作った花などホールの壁に並べて貼ったり、折り紙が難しい人は塗り絵に取り組んだり、個人がそれぞれで行ったものを1枚の用紙に貼り、みんなで完成させました。



リハ室だより

「フラワーアレンジメント」

作業療法は基本的に営業日に実施されるため、土曜日にもプログラムを行うことがあります。また土曜日は普段とは違う活動をすることもあります。

リワーク病棟では、患者さまと「お花って癒されますね」とお話をしたことがきっかけとなり、フラワーアレンジメントを行いました。初めての活動でしたが皆さま楽しんで参加してくださいました。簡単に作品を作ることができ、見るだけで癒されるフラワーアレンジメントは大変ご好評をいただきました。

今後もいろいろな活動を取り入れ、患者さまに楽しんでもらえるよう取り組んで参ります。





コーヒーブレイク



ひまわりが二輪、キャンパスから飛び出しそうな勢いで描かれています。

まるで、タテガミを風になびかせたライオンが二頭、じゃれあっているようです。

シツチャカメツチャカな天衣無縫さ！！

周囲に飛び散る途方もないエネルギー！！

収束することを拒絶するカオスの世界！！

無茶苦茶な暴れぶりだけど、とても楽しそう。

僕も仲間に入れて欲しいなあ・・・

(鶏太郎)



<絵のある場所> 有馬病院外来待合室

編集後記

今回のさんぽみち表紙は、8病棟の患者さまが合作された「菜の花」です。
モグラがひょっこりと顔を出してしまうような、うららかな春を感じさせる作品ですね。

今後もさんぽみちへのご意見ご感想をお待ちしております。



令和8年4月 広報委員会

医療法人 内海慈仁会

有馬病院

Arima Hospital

〒651-1412 兵庫県西宮市山口町下山口1637-5

TEL 078-904-0721(代)

FAX 078-904-3186

E-mail : arima.hp@nifty.com

HP : <https://www.arimahp.or.jp/>

